

## 題材名「手紙を書こう」

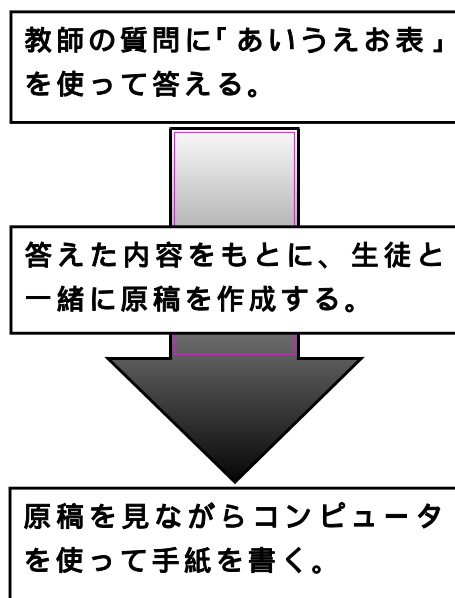
### 目標

- 自分の思いを手紙に書いて、周囲の人とコミュニケーションをとる。

### コンピュータを活用する利点

本生徒は、周囲の多くの人とコミュニケーションをとることが大好きである。発語がほとんど無いため、普段は上肢の上下や表情で会話をしている。また、「あいうえお表」（「あ～ん」が書いてあるボード）の文字を指さして言葉を伝えることもある。コンピュータを使用して自分の思いを手紙で表現することで、より深く相手とコミュニケーションをとることができる。

### 授業の流れ



### ICT 活用場面

本生徒は、高等部1年生からコンピュータを使用した学習を始めた。1年生の2学期、本校で肢体不自由養護学校でのコンピュータ利用の紹介があり、「オペレートナビ」を紹介していただいた。その後、兵庫県総合リハビリテーションセンターの協力を得て試行を重ねた結果、本生徒が一番使いやすいソフトの購入に至った。

キーボードやマウスの操作が難しいため、石膏で作った固定台で腕を固定し、手のひらでエアスイッチに力を加えることで文字入力をしている。原稿を見ながら自分で文字入力することに慣れ、以前に比べて随分速く進めることができるようになった。必要に応じて文字を漢字に変換する時や入力ミスをした時には支援が必要であるが、大変集中して学習に取り組み、自分で積極的に進めている。



### 成果と課題

手紙を完成させ相手に渡せた時のうれしそうな笑顔から生徒の大きな喜びや満足感を感じ取ることができる。手紙を通して周囲の人たちとコミュニケーションがとれるようになり、今まで以上に日々の生活が活気にあふれ、様々な活動に対するやる気も強くなっている。今後も継続してコンピュータを使って手紙を書いてコミュニケーションをとったり、簡単なゲームをしたりして楽しく余暇を過ごすことができればと思う。卒後の引き継ぎが課題である。

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン1台
使用ソフト名	オペレートナビ
使用教室	コンピュータルーム